



先生がたの評価を支援



教師用指導書には、「評価」に役立つ情報やツールを用意しています。生徒の自己評価と併せてご活用ください。

研究編

右記の各論部分のほかに、総論でも評価についての考え方や実際の評価について、詳しく解説しています。

評価の視点
自らの弱さや臆さを受け止めながら、前向きに生きていこうとする作者の姿に自分の行動を重ね合わせ、気高く生きることに考えを深めています。

評価の方法と場面
・中心発問③におけるグループでの話し合い（中間指導、ホワイトボード用紙の記述）。
・弱さを克服し強く生きていこうとする志向性（ノートでの記述）。

生徒を認め励ます評価（学習状況の把握）の例
〇〇さんは、自らの弱さや臆さを克服して生きていこうとする作者の姿に、自分の経験を重ねて考えていた。

各論の教材指導案で、生徒の学習状況を見取る際のポイントやその方法と場面、生徒の成長や変容を見取る視点の具体例について、解説しています。

具体例は、指導要録や通知表作成の際の参考にもなります。

授業のポイント（展開構想の要点）

問題場面	懸念場面	限界場面	評価把握場面
思わず「うん」とうなずいてしまう行動について考えてみよう。	金をかすめ取ったという自責の念に苦しんでいる様子を見てみよう。	おばあさんの死を知り、少年の思いが回復できない状況について考えてみよう。	卑屈になることな現状を前向きに受けとめて生きる姿を考えてみよう。
誰もがこんな状況なら仕方ないのでは…？という気持ちも理解させたい。	「甘い考え」で自分をかばおうとする弱さに視点を当てたい。	人間には自分の力ではどうすることもできない限界状況があることを理解させたい。	おばあさんの「みんなばりなさいよ。」の一言を大切に受けとめ、強く生きていく姿に共感させたい。

各教材の「授業のポイント」を新たに追加しました。教材のどの場面で生徒を見取るかの参考になります。

教師用授業記録用紙

「教師用指導書 研究編 DVD-ROM」には、毎回の授業における生徒の発言や様子を記録できる「教師用授業記録用紙」を収録しています。幅広く記録がとれるよう、生徒の目立った発言をピックアップする欄と、座席順に対応させて生徒の見取りを記入する欄を用意しています。



教師用授業記録用紙のイメージ

生徒の記録（授業中の目立った発言等を記録。3～6人程度）

名前(番号)	発言	名前(番号)	発言

生徒の発言の様子（顕著な発言や考えている様子をチェック。「/」）

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

備考(所見)

道徳評価文例作成資料

先生がたの評価を支援するツールとして、新しく「道徳評価文例作成資料」を開発しました。生徒の自己評価と、日々の授業の見取りを入力すると、自動的に評価文例が作成されます。「道徳評価文例作成資料」は、「教師用指導書 研究編 DVD-ROM」に収録予定です。

ワークシート

オリエンテーションや「自分の学びをふり返ろう」（学期ごとの振り返り）を含め、全ての教材のワークシートを、教師用指導書付属DVD-ROMに収録しています。ポートフォリオ的に集積することで、評価に役立てることが出来ます。また、教材ワークシートと「自分の学びをふり返ろう」のワークシートには、自己評価欄も設けています。

1年生の最初に
問い「あなたの道徳の授業のイメージ」

自分の学びをふり返ろう
1. 授業の振り返りシートについて振り返ってみよう。
2. 教材について、課題をもって読めたか？
3. 自分の考えを伝えることができたか？
4. 授業の内容について、深く考えることができたか？

入力画面です。

反映されてる！

生徒の名簿はここに入力する

ID	姓	名	性別	学年	ふりがな	備考
124	1	13	男	東書太郎	とうしょたろう	

①自己評価シート ②継続的にできたこと
③キラリ場面 ④選択コメント
⑤①～④のコメントをまとめる